



Yochu-JUMP

第15号

与那原中学校 (Y) 授業力 (J) アップ (Up) 元気 (Moxie) プロジェクト (P) R6.3.12発行



教科等横断調査を踏まえた授業改善に向けて!

前号では「教科等横断調査」の目的や問題・解答の例、採点を通して先生方が感じた本校生徒の課題について紹介しました。ただし「教科等横断調査」には、私たちの授業改善を推進するという目的も含まれています。採点作業に取り組んだ先生方は、どこに授業改善のヒントを見つけたのでしょうか？本内容について全教科で共有・実践していきましょう。

「教科横断等調査」の結果（平均点）

	1組	2組	3組	4組	5組	6組
(1)	1.4	0.8	1.2	1.2	0.8	1.1
(2)	0.6	0.8	0.7	1.0	0.6	0.5
(3)	1.2	1.4	1.1	1.1	0.9	0.7
(4)	1.1	1.4	1.2	1.4	1.6	1.3
合計	4.3	4.4	4.2	4.6	3.9	3.6

※(1)~(4)まで各2点、合計8点満点



採点後に各班で振り返りを行いました

教科等横断調査の解答・採点作業を終えて②

②担当教科の授業改善につなげるとしたらどのような内容があると思いますか

- ・得た知識を生かして、考えをまとめ活用する内容。家庭科の献立作成はまさにあてはまります。
- ・授業で取り組んでいる内容について、自分の考えをまとめ筋道を立てて発表する活動を取り入れる。
- ・与えられた資料（データ）からわかることや読み取れることを根拠を示して書く活動を取り入れていきたい。
- ・説明文の例（～が～のように～した）というような定型文を土台に個々の生徒に応じて文章を書かせる工夫が必要と感じた。
- ・質問の内容を的確に把握し、論述する力を身に付けさせたい。
- ・授業での説明時に、教師側もピンポイントで伝える工夫が必要と感じた。
- ・振り返りシートへの記録などで、普段から漢字を書かせるようにしたい。
- ・授業の中で対話や言語化を取り入れる。文章で表現させる。



③R6教科等横断調査を有効に活用するためのアイデアを提案してください。

- ・普段の授業から教科を協力して取り組んでみた方が良いと感じた。
(体育のコート設営で数学とコラボして測量するなど)
- ・家庭科の調理実習の材料購入など実体験を踏まえた活動を計画する。
- ・各教科で学ぶ内容が社会にどのように関係しているかを考える必要がある。
- ・教科で学んだ知識等を活用できる場面を設定することで、学ぶ意義を考えさせる。
- ・本テストの結果が良かった生徒については、三者面談等で保護者にも伝える。
- ・「総合的な学習の時間」そのものが「教科横断」である。図・表・調査したことをしっかり発表できる形をつくり、それを基礎として、生徒の発達に応じた発表（発展）に仕上げさせる。

R6の実施に向けて生徒の自己採点や振り返りの場面の設定なども検討しながら本調査を有効に活用できるように計画していきましょう!

